



2015年度 聖句

**「何事も愛をもって
行いなさい」**

(コリントの信徒への手紙
—第16章14節)

f Facebookページ開設中! 『いいね!』を押してください

— CONTENTS —

izumi TOPICS

◆卒業式	2
◆入学式	4
◆卒業生の活躍	7
◆永年勤続表彰	7



卒業式



和泉の「実」

学長 佐藤 守男

「児童を愛しましょう、殊に寄る辺なき孤児を」

このキリスト教的な人道精神に基づいて、一九三八年、カルビット・クラーク博士は第二次世界大戦による世界の不幸な子ども達を救済するために、米国防団CCFを設立します。

クラーク博士は敗戦直後の日本の子ども達をも救済するために、香港CCF総主事のミルス博士を日本に派遣し、ララ物資配給責任者バット博士とともに全国の児童養護施設の援助を開始します。

一九五六年、このCCFの援助のもとに社会福祉法人キリスト教児童福祉会 バット博士記念養成所が開設され、この施設を利用して児童養護施設従事者の現任訓練センターが始まりました。それが組織化されて玉

川保母専門学院となり、その後、和泉短期大学として発展し、二〇一六年には六十周年を迎えます。

実は、この和泉短期大学はCCFが起した、世界で唯一の保育士を養成する大学なのです。

人種や民族は違っても、子ども達は愛される存在であり、愛されなくてはなりません。戦後七十年、子ども達を取り巻く環境は、終戦直後とは大きく変わりましたが、現在でも恵まれない子ども達は大勢います。

皆さんはこの和泉短期大学で学んだのですから、プライドを持って和泉と共にその使命を担ってほしいと思います。

「木が良ければその実も良い」とし、木が悪ければその実も悪いとしなさい。木の良し悪しは、その実でわかる」と、聖書は言っています。(マタイによる福音書十二章三十三節)

二〇一四年度 卒業生

眞鍋記念奨学金

全国保育士養成協議会表彰同時受賞
長澤 亜紀



この度は、このような名誉な賞をいただき、ありがとうございます。自分のやりたいことに

向き合った結果をこのように認めていただき、大変嬉しく思います。私が学び多く充実した学生生活を送ることができたのは、共に学び合える仲間や有意義な学びを提供してくださった教職員の方々がいたからだだと思います。学びを支えてくださった家族や友だち、教職員の皆様に深く感謝を申し上げると共に、今後は保育士として現場で学びを活かし、更なる精進に努めたいと思います。

眞鍋記念奨学金

讃岐和家記念賞同時受賞
永田 道

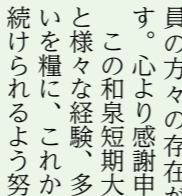


この度は、今年度の眞鍋記念特別奨学金として選んでいただき、誠にありがとうございます。

和泉で過ごした2年間、私は多くの仲間に出会い、共に成長することができました。和泉で出逢った仲間、そして仲間と共に過ごした時間は私の誇りです。

讃岐和家記念賞

中本 麻菜



この度はこのような素晴らしい賞を頂き、ありがとうございます。こうして

また、充実した毎日を送ることが出来たのは、授業での学びに留まらず、沢山のことをご教授くださった先生方、私たちが学業に専念できるよう支えてくださった職員の方々の存在があったからです。心より感謝申し上げます。

この和泉短期大学で培った知識と様々な経験、多くの仲間と出会いを糧に、これからも日々成長し続けられるよう努力していきたいと思

和泉での2年間を振り返ると、毎日がとても充実していて悔しいことや嬉しいことたくさんあるのを感じることができなかつたこととです。そして、すべての経験が私を人として成長させてくれる糧となりました。

いま新しい生活が始まり、戸惑うこともありませんが、和泉での2年間を思い出しながら、より成長できるように精進してまいります。本当にありがとうございます。

讃岐和家記念賞

林 真美



この度は素敵な賞に選んでいただきありがとうございます。大きな期待と不安を胸に入

た2年前が、つい最近のように感じます。今の私があるのは、それと見守り学生生活を応援してくれた家族を始め、様々なことを教えて下さった先生方、学び同じ時を過ごした友人の存在があるからです。そして共に受賞した2人には心から感謝しています。

中島武夫記念賞

十時 愛美



この度は中島武夫記念賞を頂きまして、有難うございました。和泉

楽しいことばかりでなく思い悩んだこともありました。このように賞を頂いたことで2年間の中での学びは一つも無駄では

「人材の育成だけでなく」

伊藤 忠彦



昨年行われた文部科学省の有識者会議で、有力な委員から「日本の大学の大半を、職業訓練学校にすべきだ」との提言があったと云う事です。

これは、教育の第一の目標を知識と技術の修得におかなければならないと云う提案です。確かに、高等教育の使命には、このより高度な知識と技術の教育と修得は欠かすことができません。

これまで、これ程、高等教育の知識と技術の必要性が声高に提言されなくても、既に知識と技術の偏重が、もたらしていると思われ、弊害が一層拡大しないとも限らないのです。



一日の様子

3月17日、和泉クラーク・ホールにて和泉短期大学第49回卒業証書・学位授与式、並びに専攻科介護福祉専攻第5回修了証書授与式が挙行されました。パイプオルガンの荘厳な音色とともに幕を開け、賛美歌斉唱、聖書朗読、祈祷、ハンドベル・クワイアによる讃美と続きました。グループアドバイザーから卒業生一人ひとり名前が呼ばれ、佐藤学長より「卒業証書・学位記」が卒業生総代に手渡されました。学長の告辞、伊藤理事長代理の祝辞、在学生代表による送辞、卒業生代表による答辞と進むうちに、卒業生一同感無量になり、涙が頬を伝うようになってきました。最後に讃美歌を斉唱して卒業式が終了しました。

—2015年度新入生研修会—

4月2日、「新入生研修会」を和泉クラーク・ホールで開催しました。

第1部の「礼拝」は片山宗教部長より、本学の学生生活において大切な礼拝についてお話がありました。

第2部は、プロテスタント教会で“音楽伝道者”として活動されている久米小百合さん（シンガーソングライター名：久保田早紀さんとしてもご活躍）より、「心の視力もあげよう」というテーマで講演をしていただきました。「苦しいとき、悲しいとき、悩んだときに“聖書”が私の柱となってくれた」という久米さんの言葉が学生の心に残ったようです。また講演の中で学生と共に賛美いただいた「Amazing Grace」は 優しく、深い思いが込められ 新入生は大きな感動を味わっていました。今回の新入生研修会は建学の精神「キリスト教信仰に基づく教育と人格形成」について深く考える機会となったことでしょう。



入学式

—当日の様子—

4月1日、和泉クラーク・ホールにおいて2015年度の入学式を挙行了しました。

当日は、多くの保護者のご参列をいただき、児童福祉学科に319名の新入生を迎え、専攻科 介護福祉専攻には、19名の保育士資格取得者が入学しました。式は学生聖歌隊の清らかな歌声の讃美により進行していきました。学長告辞、理事長の祝辞と続き、パイプオルガンの壮麗な響きで終了しました。新入生は記念写真撮影後、グループ毎に集まって、自己紹介をし、これから始まる学生生活の夢を語り合いました。新入生が良き保育者、介護者に成長することを願っています。



新入生の言葉



1年生 大森 千里
(上溝南高等学校出身)

和泉に入学し一番感じたことは、授業がとても充実していることです。どの授業も私はいつも感動しています。先生方の体験の話や、今現在の状況の話

など、とても新鮮で心を動かされています。その思いを忘れず実践でも生かしたいと思っています。
大学生生活は皆が同じ夢に向かっていけるので話が合うし一緒に頑張ろうという気持ちになります。不安も少しずつなくなり毎日前向きに学校へ行っています。周りの友達も元気がよく楽しいので自然と私も笑顔で過ごしています。二年間で沢山身につけた自分の想像を超えられるような保育者になりたいと思っています。



専攻科 竹下 純世

私が専攻科に入学してから一ヶ月が経ちました。児童福祉学科二年生の時、進路を決める時期なり、私は就職か進学をするかとても悩みました。ですが、

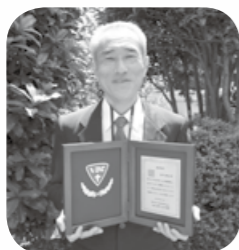
もっと多くの知識を身に付けたい、自分の可能性を広げてみたいと思いついて、専攻科への進学を決めました。早く承諾してくれた両親に感謝の気持ちでいっぱいです。
介護福祉について学んでいく中で、保育とはまた違った難しさがあり、戸惑うことも多いのですが、少しずつ頑張っていると思っています。
六月には初めての実習がありとても緊張しますが、利用者の方々と多く関わられるように頑張りたいです。



永年勤続表彰(30年)

教授 井狩 芳子

この度は永年勤続表彰を頂きありがとうございます。着任直後採用面接にお立会い下さいましたT先生から、「先生の授業は大学の学校ではなく、メダカの学校です」と仰っていただきましたが、それ以降、約一万人の保育者養成に関わらせていただきましたことに改めて身が引き締まる思いです。卒業生の活躍に思いをはせながら、体育(発育発達)・保育(健康)領域において、自身の集大成として次の世代に伝えるべく内容を模索する日々です。お支えいただきました本学に係る皆様へ感謝申し上げます。



永年勤続表彰(15年)

教育・学習支援 ユニットリーダー 吉田 耕也

創立記念礼拝に引き続いて永年勤続表彰の場を設けていただき、誠にありがとうございました。和泉での十五年間では、学生の皆さんからパワーをたくさんいただき、楽しく充実した時間を過ごしています。多くを学び、そして恵みをいただきました。支え導いてくださいました多くの方々へ心から感謝申し上げます。



ベストオブスタッフ賞

経理・施設 ユニット主任 木村 文紀

取り立ててこれといった実績を残していない、私と同賞を頂いたことには、事務局長千橋さんからの叱咤の意味があると考えています。「いつでも何処でも誰にでも常に同じ態度で丁寧に対応することを心掛けて」という授賞理由は、裏返せば、我々職員が十分に取組んでいない、という指摘です。和泉短期大学の運営は、様々なステークホルダーの方々へ支えられている事を覚えて、職員全員が誰にでも丁寧な対応をできるように努める為、発言を続けていきたいと思っております。

— 土橋正文事務局長を次期事務局長に選任(重任) —

土橋正文事務局長の任期満了(2015年3月31日)「学校法人和泉短期大学役職員に関する規程第3条」により、3月20日開催の2014年度第4回理事会において、土橋正文氏が次期事務局長に選任(重任)されました。事務局長任期 2015年4月1日~2019年3月31日(4年間)

※1 「むちを振り振り」と歌う童謡「雀の学校」より
※2 「だれが生徒か 先生か」と歌う童謡「メダカの学校」より

TOPICS

第28回 学生研究発表会

2月27日、聖徳大学で全国保育士養成協議会関東ブロック協議会主催の学生研究発表会に本学2年生2グループ(7名)が参加して研究発表を行いました。2グループとも先生方の熱心な指導により、多くの時間を費やして研究を行い日頃の成果を十分に発揮しました。発表を行った学生は「今後の保育者としてとてもいい経験になった」と感想を述べてくれました。



産業界のニーズに対応した教育改革・充実体制整備事業 成果報告シンポジウム

2月28日、電気通信大学で産業界のニーズに対応した教育改革・充実体制整備事業、関東山梨地域大学グループ成果報告シンポジウムが開催されました。外部評価委員長の岩波氏より「和泉短期大学と北里大学とのほっぴいアクアリウムプロジェクト」について、大学間連携の成功例として、また、産業界委員(さがまちコンソーシアム)の協力をいただいた取り組みとしても、好評価をいただきました。

SD・FD研修会

3月9日、教職員全員を対象に第3回FD・SD(合同)研修会を3部構成で開催しました。第1部は名城大学大学院 大学・学校づくり研究科長・教授 池田輝政先生より保育・福祉専門職の養成にかかわる大学改革に取り組むために、3つのポリシーの策定意義と役割を理解し、日常の実践にどう生かしていくべきかを講演していただきました。第2部は高等教育機関に関する中央教育審議会、教育再生実行会議等の答申・提言の軌跡を辿りながら、今後どのように本学の教育改革に取り組んでいくか土橋事務局長と鈴木教務部長から説明を受けました。第3部は深町学術情報ユニットリーダーより日常の工夫でメール等のトラブルを未然に防ぐ方法を学びました。



第三者評価で「適格」認定

本学は認証評価機関である、一般財団法人短期大学基準協会による2度目となる第三者評価を受け、協会の定める短期大学評価基準を全て満たしているとして、平成27年3月12日付で「適格」と認定されました。

保証人(家族)連絡会開催

4月1日、保証人(家族)連絡会を開催いたしました。多くのご家族の皆様が参加され、新入生が2年間どのように和泉で学び、学生生活をお過ごしのかを教務部長・学生部長よりご説明いたしました。

父母会総会開催

4月1日、和泉クラーク・ホールで2015年度父母会総会が開催されました。深町正信理事長と佐藤守男学長の挨拶の後に、父母会長を議長として議事が審議されました。終了後、学生食堂でご父母の皆様と教職員との懇親会が行われました。



新入生歓迎大会

4月3日、「新入生歓迎大会」を開催しました。午前中は、2年生の新入生歓迎大会委員の進行によりレクリエーションを行いました。その後、各グループの1、2年生と一緒に昼食をとり、午後からは制作活動のプログラムに取り組みました。新入生と2年生が共同で1つの作品を創り上げていくプログラムは、先輩、後輩、友達の絆を深めるきっかけになり、全学生が充実した時を過ごすことができました。



創立59周年記念フェア(5回目)開催

5月13日、「学校法人和泉短期大学創立59周年」を記念してフェアを開催しました。学生食堂とコンビニは、学生たちの若い熱気にあふれ、いたるところで明るい笑顔の輪が広がっていました。次回は10月にサンクスギビングフェアを予定しています。
フェアの主な内容
・学生食堂100円ランチ(タコライス&カレーライス)(200食限定) ・コンビニ全品20% OFF ・自動販売機：合計200杯限定無料販売



卒業生の活躍



在学中、勉強と実習とハンズオンに明け暮れた日々を卒業し、就職したのは伊勢原市役所、公立保育所勤務。子ども達と接しながら自分の保育について、このままで良いのかと考えた時期もありました。理想の保育とは、現状との差は、子どもの為になる事とは…。十年が過ぎる頃転職が訪れました。市役所の現・子ども家庭相談室への異動です。

その部署では平成十七年度から始まった市町村の児童虐待対応と、乳幼児の療育相談を受ける事が業務で、保育とはかけ離れた内容であり、全て学び直しでもありました。その部署はそれぞれ社会福祉士、保健師、言語聴覚士、臨床心理士、保育士という全員の職種という特殊な配置でした。そこで多職種の人とチームとして働くこと、保育士のアイデンティティについ

て考えること、児童虐待という難しい係わりがあることを学びました。その経験から平成二十五年度は神奈川県と伊勢原市の交流人事で1年間、県の職員として児童相談所の相談業務につき、市だけに留まらない県としての広域の相談や支援、重篤な児童虐待の対応も経験しました。療育相談も虐待相談も根本にある「子どもにもまく係われない」という状況

は似ています。その子にとって、少しでも良い育ちとなるよう保護者と機関が共に考えていく。当たり前ですがとても重要で難しいことだと感じています。今では業務で知り合った県や他市の方と子ども虐待防止学会発表もさせて頂いています。これからは様々な方と知り合い、係わりながら子ども達のことを考えていきたいと思っています。

伊勢原市子ども家庭相談室(二九九四年卒業) 吉川まり子

2014年度「教育環境充実資金」募金のお礼

多くの皆様に「教育環境充実資金」募金にご賛同頂き、心から感謝申し上げます。

2014年度の募金につきましては、夏期休業期間に1号館、2号館の屋上防水塗装工を行い、104、203、303各教室にプロジェクター、スクリーンを設置しました。学生の教育環境を一層充実させるため寄付金を活用させていただきます。ここに2014年度の募金報告を致します。

●募金対象事業

- 1) 1・2号館屋上防水塗装工事
- 2) 教室プロジェクター、スクリーン設置

- 設置費用 26,555,200円
- ご寄付者数 88件(2014年5月1日～2015年3月31日)
- 寄付金総額 1,337,000円

ご寄付をいただきました皆様方に心から感謝申し上げます。2014年度の下記期間の募金につきまして寄付者ご芳名をまとめさせていただきました。なお、法人事務局が受理いたしました日付で処理いたしております。多少のずれが生じている方もあるかと存じますが何卒ご了承をお願いいたします。

寄付者一覧(敬称略) < 2015年3月1日～3月31日 > 福地 弘行 / 新美 臣江 / 滝沢 奈美子 / 松崎 夕子

2015年度「教育環境充実資金」募金のお願い

和泉短期大学では、教育の充実を図り、施設維持整備を目的に新入生のご家族、同窓生を対象に「教育環境充実資金」へ募金の協力をお願いしております。任意ではございますが、何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

●募金対象事業

- 1) 施設・教育設備の整備(アクティブ・ラーニング室整備、2号館(研究棟)外壁塗装工事他、教室プロジェクター設置)
- 2) 震災・災害対策

3) その他

- 設置費用 10,000,000円
- 募金期間 2015年6月～2016年3月
- 寄付金額 一口5,000円
- 募金担当

和泉短期大学「経理・施設ユニット」[042-754-1133]にお問い合わせください。

専門実践教育訓練給付金 (専攻科 介護福祉専攻)

<教育訓練給付制度とは?>

- ・厚生労働省による、働く方のスキルアップを支援し、雇用の安定、再就職の促進を図ることを目的とした制度です。
- ・一定の条件を満たす雇用保険の一般被保険者(在職者)または一般被保険者であった方(離職者)が、専攻科介護福祉専攻に入学し介護福祉士資格を取得した場合、本人が卒業までに実際に支払った学費(入学金、授業料)の40%(上限年48万円)が給付されます。
- ・支給対象者は、入学までに通算して2年以上の雇用保険の被保険者期間を有している方です。

給付金
受給まで
の流れ

2016年2月末日までに
ハローワークにて相談・申請
必要書類の提出(ご自身で行う必要があります)

在学中

半年毎にハローワークへ 申請⇒給付※
※ 2016年10月に約28万円
2017年4月に約4万円が支給されます。

卒業(資格取得)・就職

本学で介護福祉士取得後1年以内に就職した場合
申請⇒追加給付※
※ハローワークから16万円が
追加支給されます

詳細は和泉短期大学ホームページをご覧ください。
問い合わせ先 和泉短期大学 広報渉外ユニット 042-754-1133

訃報

元和泉福祉専門学校第4代校長 小崎忠雄先生が、2015年3月11日に召天されました(享年82歳)。ご遺族の皆さまの上に、神様のお慰めと平安をお祈りいたします。

経歴

横須賀基督教社会館主事、名古屋キリスト教社会館館長、社会福祉法人興望館館長、特別養護老人ホーム愛泉苑苑長、日本キリスト教社会福祉学会理事・監事、社会福祉法人横須賀基督教社会館理事、社会福祉法人東京家庭学校監事などの役員を歴任されてきました。キリスト教社会福祉の現場での経験と、高齢者福祉の専門家として待望され本法人の(和泉老人福祉専門学校)校長に就任されました。

校長に就任された翌年の1990年には教育の指標となる教育指針を策定、学科名を老人福祉科から介護福祉科に変更しました。1992年には校名を「和泉福祉専門学校」に改称し、和泉福祉専門学校の基礎確立に力を尽くしていただきました。

■本学在職期間

1989年4月 和泉老人福祉専門学校校長に就任
1999年3月 和泉福祉専門学校校長 任期満了に伴い
退任

2015年度 保育士資格取得特例講座

(幼稚園教諭免許状を有する方の保育士資格取得特例に関する科目)

認定こども園法の改正により、新たに創設された「幼保連携型認定こども園」は学校教育と保育を一体的に提供する施設であるため、その職員としては「幼稚園教諭免許状」と「保育士資格」の両方の免許・資格を有する「保育教諭」が位置づけられています。新たな「幼保連携型認定こども園」への円滑な移行を進めるため、改正認定こども園法の施行後5年間は、「幼稚園教諭免許状」または「保育士資格」のいずれかを有すれば、「保育教諭」として勤務できる経過措置が設けられています。

和泉短期大学は「保育教諭」の人材確保の一助となるべく、幼稚園教諭免許状を有する方の保育士資格取得が促進されるよう相模女子大学と共同で本講座を開講いたします。

詳しくは本学ホームページをご覧ください。

問い合わせ先 和泉短期大学 教育・学習支援ユニット 042-754-1133

私は、文部科学省支援事業に伴い、四年十ヶ月の間、キャリアデザイン支援者(保育力支援者)として、学生の支援に努めて参りました。絵本読み聞かせ教室、おりがみ教室、実習前教室、保育準備力教室の実施や学生の個別相談等、対応して参りました。しかし、二〇一四年度を以って、この支援事業の終了と共に、退任となりました。子どもの教育、保育に携わろうと志を持っている皆さん、どうか志を持ち、誠実に懸命にこの仕事を自分のライフワークとして大事に心より願っております。

キャリア
デザイン
センター
古川 清美

退任あいさつ